

学校教育目標 [もてる力を発揮しつつながり響きあう児童の育成]



清滝っ子

豊岡市立清滝小学校

学校だより 第18号

令和5年12月21日 発行

12月22日は冬至(とうじ)といって、一年のうちで最も昼間の時間の短い日です。冬至は太陽の力が一番弱まった日であり、この日を境にして日がだんだんと長くなることから、太陽が再び力を取りもどすという意味で「一陽来復(いちようらいふく)」という言葉が生まれました。



「一陽来復」には、悪いことの後に幸運がめぐってくるという意味もあって、縁起のいい言葉でもあります。そこで、冬至の日には「南京 なんきん(かぼちゃ)」「れんこん」「にんじん」など、「ん」のつくものを食べると「運」が呼び込めると言われているそうです。冬の本格的な寒さはこれからですが、体にしっかりと「ん」を蓄えて、元気に冬休みを過ごしてください。



みんなでジャンプ — なわとび大会

12月14日(木)は、全校生で「なわとび大会」をしました。2学期後半から、体育の授業でもなわとびを始め、なわとびチャレンジカードで級の認定をしています。この日は、縦割り班で級を選んでチャレンジしたり、前とびが1分間で何回できるか数えたりしました。縦割り班の中で、上級生と下級生がいっしょになって跳んだ回数を数え合ったり、応援の声をかけたりする姿がたくさんあり、とてもよいなわとび大会になりました。



オリジナルみそ汁をつくろう 5年生調理実習

12月15日(金)に、5年生が調理実習でみそ汁づくりをしました。3つの班に分かれて、自分たちが考えた「オリジナルみそ汁」を作りました。

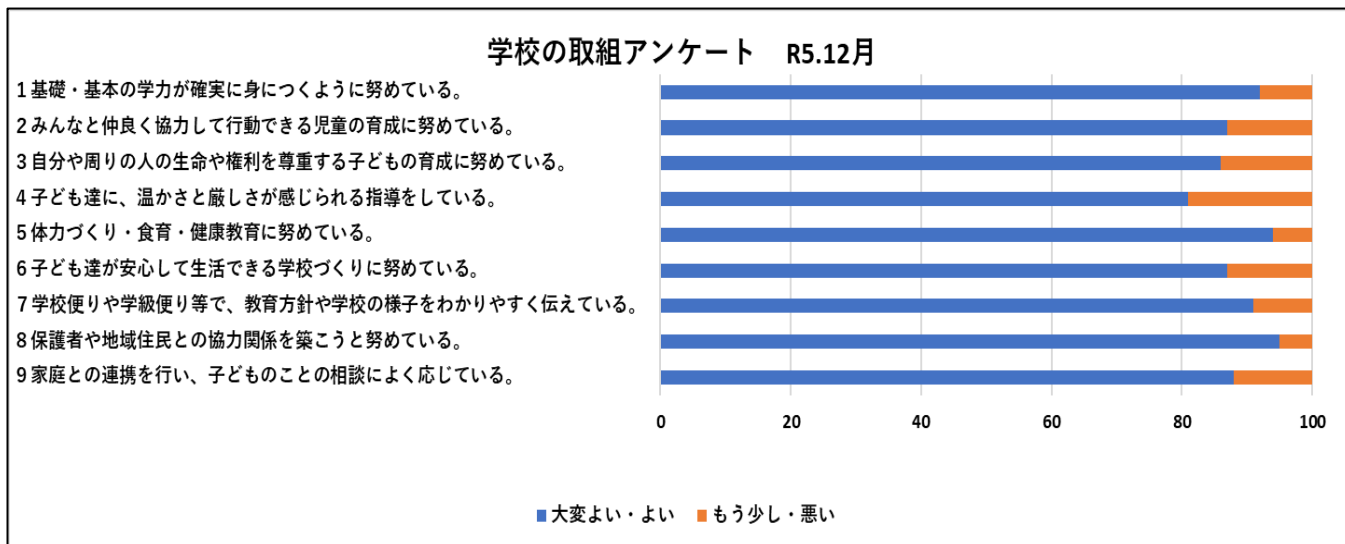
みそ汁は、昆布、かつお節、煮干しから出汁(だし)をとる本格的なものでした。具材もネギ、ニンジン、白菜、油揚げ、豆腐、キノコなど、班ごとに組み合わせを考えて作っていました。少し包丁のあつかいが危なっかしかったり、具材が切れずにつながっていたりもしましたが、完成品はどれもいい味が出ていて、おいしかったです。

冬休みには、家でも調理に挑戦してみてください。



2学期保護者アンケート結果より

清滝小学校では、本年度の学校教育目標を「もてる力を発揮し つながり 響き合う児童の育成」とし、日々の教育活動を行っています。これまでの学校の取組につきまして、保護者アンケートを実施しました。その集計結果が出ましたので、ご報告いたしますとともに、今後の学校運営に生かしていきたいと思っております。お忙しい折にアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。



項目	大変よい・よい	もう少し・悪い
1 基礎・基本の学力が確実に身につくように努めている。	92	8
2 みんなと仲良く協力して行動できる児童の育成に努めている。	87	13
3 自分や周りの人の生命や権利を尊重する子どもの育成に努めている。	86	14
4 子ども達に、温かさや厳しさが感じられる指導をしている。	81	19
5 体力づくり・食育・健康教育に努めている。	94	6
6 子ども達が安心して生活できる学校づくりに努めている。	87	13
7 学校便りや学級便り等で、教育方針や学校の様子をわかりやすく伝えている。	91	9
8 保護者や地域住民との協力関係を築こうと努めている。	95	5
9 家庭との連携を行い、子どものことの相談によく応じている。	88	12

本年度の「学校の取組」についての評価では、各項目で「大変よい・よい」という肯定的な評価が、80～90%台となっています。

項目5では、運動会で演技種目を増やしたり、持久走記録会や縄跳び大会を実施し、児童の体力づくりを進めています。また、項目8では、運動会やオープンスクールを地域の方にも公開することができました。本年度設置されたコミュニティスクールとしての取組を充実し、「地域とともにある学校」をめざしていきたいと思っております。

また、項目2・3の子どもの育成に関わる課題や、項目4・6・9の子どもの指導や家庭との連携に関わる課題について、アンケート結果を真摯に受け止め、学校と家庭との一層の信頼関係づくりに取り組んでいきます。

保護者や地域の皆様には、日頃からご支援・ご協力をいただき、ありがとうございました。おかげをもちまして、大きな事故や感染症による学級閉鎖等もなく、無事に2学期を終えることができます。12月23日から冬休みが始まりますが、子どもたちが、安全・安心で充実した冬休みを送れますよう、引き続き、ご協力をお願いいたします。皆様、よい年をお迎えください。